

# 2019年度 事業報告書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブ

## 第1 事業の成果

当法人は、本年度も、誤った情報に惑わされない社会に向けて、日本国内のファクトチェックの普及啓発するための各種事業を実施しました。

本年度の主な成果は以下のとおりです（特に断りがない場合、日付は2019年です）。

### (1) 情報発信・啓発

#### ①ウェブサイト等による情報発信

- 6月：FIJの公式ウェブサイト（fij.info）を全面刷新しました。
  - メディアパートナーによるファクトチェック記事が6ヶ月間で計37本発表され、要旨をFIJサイトに掲載しました。
- 11月～：gooニュース/dmenuニュースにファクトチェックの紹介記事など計20本の記事を配信しました。
- 20年2月～：新型コロナウイルス特設サイトを開設しました。
  - 特設サイトは大きな反響を呼び、Yahoo!ニュース、LINEニュース、グノシー、gooニュースに掲載されました。
  - サイトへのアクセスは、362万PV（7月～20年3月）、月間平均51.7万PV。新型コロナ特設サイト開設以後に急増し、2月に約150万PV、3月に約200万PVに達しました。

### (2) 市民・メディアとの連携・協働

#### ①メディアパートナーの募集

- 4月～：メディアパートナーの募集を始め、5月下旬に国内外12団体の加盟を発表しました。
  - 20年3月までに計16団体（うち、海外4団体）となりました。
  - 国内
    - （\*印 ファクトチェック記事を発表する予定のメディア）
    - スマートニュース（SmartNews）
    - 東北大学乾・鈴木研究室
    - スペクティ（Spectee）
    - バズフィードジャパン（BuzzFeed Japan）\*
    - ジャパンインデプス（Japan In-dpeth）\*
    - 食の安全と安心を科学する会（SFSS）\*
    - インファクト（INFACT）（旧ニュースのタネ）\*
    - 琉球新報\*
    - Wasegg\*
    - 中京テレビ（CTV）\*
    - ミエルカ（Mielka）
    - 毎日新聞\*

○ 海外

- 国際ファクトチェックネットワーク (IFCN)
- ポリティファクト (PolitiFact) \*
- 台湾ファクトチェックセンター\*
- アニーラボ (Annie Lab) \*

②参議院議員選挙ファクトチェック・プロジェクト

- 7月：FIJが参院選ファクトチェックへの参加を呼びかけを行い、4社のメディアパートナー（琉球新報、BuzzFeed Japan、INFACT、Wasegg）が計9本のファクトチェック記事を発表しました（参院選特設ページに掲載）。

③新型コロナウイルス国際協力プロジェクト

- 20年2月～：IFCNの新型コロナウイルスに関するファクトチェックのデータベース構築にFIJも協力した結果、国内のメディアパートナー（BuzzFeed Japan、INFACT）のファクトチェック記事要旨（英訳）がIFCNのデータベースサイトに掲載されました。
- 20年3月～：海外のファクトチェック団体との調査連携に取り組み、以下の事案で成果が出ました（\*印は20年度の成果）。
  - 台湾ファクトチェックセンターのファクトチェック（                    を騙ったツイート）の調査に協力→3月13日記事化
  - MyGoPen（台湾）のファクトチェック（                    に関する捏造画像を含むネット情報）の調査に協力→3月22日記事化
  - BOOM（インド）のファクトチェック（                    を騙った情報）の調査に協力→4月7日記事化（\*）

④疑義言説モニタリングとデータベース化

- 6月～：疑義言説自動収集システム「Fact-Checking Console (FCC)」(スマートニュース株式会社、東北大学乾研究室の共同開発)が本格稼働し、疑義言説を会員サロン (Facebook非公開グループ) で会員・メディアパートナー向けに提供しました (11月まで月100件程度)。
- 12月～：疑義言説共有システム「ClaimMonitor2」(クレイムモニター2)の運用を開始しました。20年3月までの4ヶ月間で、800件を超える疑義言説データを集積し、会員・メディアパートナーに閲覧供用しました。
- メディアパートナー (BuzzFeed Japanなど) がクレイムモニターの情報を利用してファクトチェック記事化する成果がいくつも出ました。

⑤海外のファクトチェック団体との関係強化

- 9月：                    が台湾ファクトチェックセンター (TFC) を訪問交流し、メディアパートナー加盟につながりました。
- 10月：                    が韓国・ソウル大学ファクトチェックセンター (SNU FactCheck Center) を訪問し、FIJセミナー (1月11日開催) における事務局長ら韓国ファクトチェック関係者の招聘につながりました。

⑥国際会議への参加

- 第6回世界ファクトチェック会議 (GlobalFact6、6月) では、                      
                    が「アジアのファクトチェックネットワーク構築」と題するセッ

ションを主宰しました。3回目の参加で、FIJ側が初めてセッションを主宰することができました。

### (3) 会員の募集結果

- 第2期（19年1月～12月）は、正会員は16名・2法人、賛助会員は159名（うち学生97名）・4法人でした。賛助会員は、第1期（17年11月～12月）に比べ27%増となりました。
- 第3期（20年1月～）は、正会員は18名・3法人、賛助会員は155名（うち学生109名）・3法人となっています（3月末現在）。

## 第2 事業の実施に関する事項

### 1 特定非営利活動に係る事業

#### (1) ファクトチェックの質的向上のためのガイドライン等の整備・啓発事業

##### ① FIJセミナー等

本年度は、FIJセミナーを計4回開催しました。また、共催の研究会も1回開催しました（以下、講師の敬称は省略します）。

- FIJセミナー「偽情報対策に動き出す世界～活発化するファクトチェック」
  - 日時：6月23日 13:00～16:00
  - 会場：早稲田大学 3号館704教室（東京都新宿区）
  - 参加料：会員無料、非会員3000円
  - 講師：[REDACTED]
  - 来場者：計45名（一般36名、登壇3名、役員2名、スタッフ4名）
- FIJセミナー「ファクトチェック実践報告～メディアの現場から」
  - 日時：9月28日 17:00～19:00
  - 会場：早稲田大学 7号館307教室（東京都新宿区）
  - 参加料：会員無料、非会員3000円
  - 講師：[REDACTED] など
  - 来場者：計30名（一般19名、登壇6名、役員3名、スタッフ3名）
- FIJセミナー「<偽情報>深まる脅威～最前線レポート」
  - 日時：12月5日 19:00～21:30
  - 会場：スマートニュース・イベントスペース（東京都渋谷区神宮前）
  - 参加料：会員無料、非会員3000円
  - 講師：[REDACTED]
  - 来場者：計34名（一般26名、登壇2名、役員3名、スタッフ3名）
- FIJセミナー「韓国メディアで広がるファクトチェック 日韓協力は可能か」
  - 日時：20年1月11日 14:00～17:45
  - 会場：早稲田大学 3号館801教室（東京都新宿区）
  - 共催：早稲田大学次世代ジャーナリズム・メディア研究所
  - 参加料：無料
  - 講師：[REDACTED]

- 来場者：計74名（一般64名、登壇2名、役員4名、スタッフ4名）
- ファクトチェック研究会「アジアにおける誤情報・偽情報とファクトチェック最新の動向」
  - 日時：10月19日 15:30～18:00
  - 会場：早稲田大学 早稲田キャンパス3号館 405教室
  - 共催：早稲田大学次世代ジャーナリズム・メディア研究所
  - 参加料：無料
  - 講師：[REDACTED]

## ②公式ウェブサイト等の運営

- 4月2日：国際ファクトチェック・デー特設ページを開設。
- 4月～：実験的ポータルサイト「COGITO(コギト)」(cogito.fij.info)で、ファクトチェック関連ニュースのリンク集を発信（6月からリニューアルした公式サイトトップページにタイムライン設置。現在は運用中止し、今後、新ポータルアプリ「FactCheck Navil」に引き継ぐ予定）
- 6月中旬：FIJのウェブサイト(fij.info)を全面的に刷新しました（旧サイトはarchive.fij.infoに移行）。
- 7月18日：参院選2019特集ページを開設。
- 11月～：gooニュース/dmenuニュースへの配信も開始。
- 20年2月3日：新型コロナウイルス特設サイトを開設。

## (2) ファクトチェックに関する国内外の団体及び市民との連携・協働事業

### ①メディアパートナー会議

- 2018年12月から有志のメディア関係者への呼びかけで非公式のメディアパートナー会議を数回に開催してきましたが、4月から正式なメディアパートナー募集を始め、5月下旬に国内外12団体の加盟を発表しました（20年3月末現在、計16団体（うち、海外4団体））。
- メディアパートナー会議を以下の通り実施しました。
  - 第1回
    - 日時：2019年6月1日15:00～
    - 会場：スマートニュース会議室
  - 第2回
    - 日時：2019年6月26日19:00～
    - 会場：スマートニュース会議室
    - 主な議題：
  - 第3回
    - 日時：2019年7月30日19:00～
    - 会場：中京テレビ東京支社会議室
  - 第4回
    - 日時：2019年11月7日19:00～
    - 会場：中京テレビ東京支社会議室
  - 第5回
    - 日時：2019年12月10日19:00～
    - 会場：スマートニュース会議室

## ②参議院議員選挙プロジェクト

- 経緯
  - 7月3日：プロジェクト開始の記者会見を開催
  - 7月18日：公式サイト内の特集ページに記事掲載を開始
  - 7月21日：投票日
- 成果
  - 4メディアが参加し（BuzzFeed Japan、琉球新報、ニュースのタネ、Wasegg）、記事化は9本（検証対象候補の言説は72件）。

## ③国際会議等への参加

- 第6回世界ファクトチェック会議
  - 開催日時：6月19日～21日
  - 主催：国際ファクトチェックネットワーク（IFCN）
  - 場所：南アフリカ・ケープタウン
  - [REDACTED]が参加し、海外の関係者と交流し、セッションを主宰。6月23日のFIJセミナーで概要を報告した。
- アジアファクトチェックフォーラム
  - 開催日時：10月5日～6日
  - 主催：台湾ファクトチェックセンターなど
  - 場所：台湾・国立台湾大学
  - [REDACTED]が講演し、FIJ公式サイトにレポートを掲載した（10月10日）。
- 第2回ファクトチェックコンテスト（韓国）
  - 開催日時：10月30日～11月1日
  - 主催：韓国放送記者協会
  - 場所：韓国・ソウル
  - [REDACTED]が参加し、関係者と交流し、11月7日のメディアパートナー会議で概要を報告した。
- APAC Trusted Media Summit 2019
  - 開催日時：12月7日～9日
  - 主催：グーグル
  - 場所：シンガポール
  - 奥村理事が参加し、関係者と交流し、FIJ公式サイトにレポートを掲載した（20年1月3日）。

## ④ClaimMonitorプロジェクト

- 6月より、疑義言説自動収集システム「Fact-Checking Consoleシステム（FCC）」（スマートニュース株式会社、東北大学乾研究室の共同開発）が本格稼働しました。
- 4～11月までは、FCC等で覚知した疑義言説を会員サロン（Facebook非公開グループ）で共有していました（月100件程度）。
- 12月より、疑義言説データベースシステム「ClaimMonitor2」（クレイムモニター2）の運用を開始し、2020年1月からメディアパートナー、会員にも閲覧供用を開始しました。旧クレイムモニター（2018年稼働）に比べ、作業

性・視認性が大幅に向上し、一般通報の反映、新着情報の自動通知といった機能が装備されました。

#### ⑤サポーター制度

- 学生を中心とするFIJ会員（サポーター、モデレーター）にFCCを活用して疑義言説を特定し、クレームモニターにデータを登録する業務の委託を開始しました。業務を委託する会員に対し、ファクトチェックの基礎的な研修も実施しました。

#### ⑥新型コロナウイルス国際協力プロジェクト

- 20年3月より、日本財団の助成を受け、国内外のメディア・団体等と連携して、新型コロナウイルス関連の誤情報・偽情報を対象とするファクトチェックの調査に協力するプロジェクトを開始した。
- 新たに学生を主体とした20名超のメンバーに、ファクトチェックの基礎に関する研修を実施しつつ、疑義言説の覚知、調査、レポート作成、ウェブサイト更新などに取り組んだ。（\*プロジェクトは3月中旬からスタートしていますが、事業費は2020年度に計上しています）

※ なお、「ファクトチェックに貢献する団体・個人に対する評価・支援事業」は、本年度は実施しておりません。

※ 以上、「特定非営利活動に係る事業」の事業費は総額379万円となりました。

## 2 その他の事業

該当なし

## 第3 会議の開催に関する事項

### 1 社員総会

本年度は社員総会を2回開催しました。通常総会では、第1期役員の任期満了に伴う役員改選を行いました。

#### (1) 2019年度通常総会

- 日時：2019年6月1日 13:15～14:45
- 場所：スマートニュース会議室
- 議案：前年度事業報告・決算報告、新年度事業計画・予算・役員改選など

#### (2) 2019年度第1回臨時総会

- 日時：2020年1月11日 10:10～10:25
- 場所：早稲田大学早稲田キャンパス 3号館 812 教室
- 議案：2018年度決算(訂正)

### 2 理事会

本年度は理事会を4回開催しました。第2期理事会が6月1日より発足しました。

- (1) **第1期第5回理事会（2019年5月19日）**
  - 主な議題：活動報告、主たる事務所所在地の変更、メディアパートナー制度
- (2) **第2期第1回理事会（2019年6月1日）**
  - 主な議題：正副理事長選出、委員会設置
- (3) **第2期第2回理事会（2019年9月28日）**
  - 主な議題：活動報告、正会員の有効期間変更、会員の入会拒否事由
- (4) **第2期第3回理事会（2020年1月11日）**
  - 主な議題：活動報告、ガイドラインの改定手続きについて

以上

2019年度 活動計算書

特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブ

(単位:円)

科 目	金 額	小計・合計
<b>【A】 経常収益</b>		
1 受取会費		5,769,000
正会員受取会費	5,155,000	
賛助会員受取会費	614,000	
2 受取寄附金		5,200,300
受取寄附金	5,200,300	
3 受取助成金等		15,115,260
受取民間助成金	15,115,260	
4 事業収益		198,000
事業収益	198,000	
5 その他の収益		33,306
受取利息	36	
雑収益	33,270	
<b>経常収益計</b>		<b>26,315,866</b>
<b>【B】 経常費用</b>		
1 事業費		
(1) 人件費		0
人件費	0	
(2) その他経費		3,743,808
賃借料	5,400	
サービス利用料	621	
業務委託費	2,719,586	
謝金	366,000	
会議費	164,016	
交際費	4,104	
旅費交通費	383,532	
通信運搬費	9,895	
消耗品費	37,477	
支払手数料	26,560	
広告宣伝費	26,617	
<b>事業費計</b>		<b>3,743,808</b>
2 管理費		
(1) 人件費		0
人件費	0	
(2) その他経費		3,826,112
業務委託費	3,146,500	
会議費	6,061	
旅費交通費	249,712	
通信運搬費	27,699	
消耗品費	58,242	
賃借料	41,480	
諸会費	72,800	
租税公課	9,700	
支払手数料	111,073	
サービス利用料	102,845	
<b>管理費計</b>		<b>3,826,112</b>
<b>経常費用計</b>		<b>7,569,920</b>
<b>当期経常増減額【A】-【B】・・・①</b>		<b>18,745,946</b>
<b>【C】 経常外収益</b>		
経常外収益	0	
<b>経常外収益計</b>		<b>0</b>
<b>【D】 経常外費用</b>		
経常外費用	0	
<b>経常外費用計</b>		<b>0</b>
<b>当期経常外増減額【C】-【D】・・・②</b>		<b>0</b>
<b>税引前当期正味財産増減額①+②・・・③</b>		<b>18,745,946</b>
法人税、住民税及び事業税・・・④		0
前期繰越正味財産額・・・⑤		-550,102
<b>次期繰越正味財産額③-④+⑤</b>		<b>18,195,844</b>



## 2019年度 貸借対照表

特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブ

(単位:円)

科目	金額	小計・合計
<b>【A】 資産の部</b>		
<b>1 流動資産</b>		
現金預金	21,393,989	21,393,989
未収金	272,314	272,314
未収収益	21,500	21,500
仮払金	4,548	4,548
Syncable	284,791	284,791
<b>流動資産合計・・・①</b>		<b>21,977,142</b>
<b>2 固定資産</b>		
(1) 有形固定資産		
有形固定資産	0	0
(2) 無形固定資産		
無形固定資産	0	0
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産	0	0
<b>固定資産合計・・・②</b>		<b>0</b>
<b>【A】 資産合計 ①+②</b>		<b>21,977,142</b>
<b>【B-1】 負債の部</b>		
<b>1 流動負債</b>		
未払金	161,704	161,704
前受金	3,000,000	3,000,000
預り金	4,594	4,594
役員借入金	600,000	600,000
仮受金(FIJ)	15,000	15,000
<b>流動負債合計・・・③</b>		<b>3,781,298</b>
<b>2 固定負債</b>		
固定負債	0	0
<b>固定負債合計・・・④</b>		<b>0</b>
<b>負債合計 ③+④</b>		<b>3,781,298</b>
<b>【B-2】 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産額		-550102
当期正味財産増減額		18,745,946
<b>正味財産合計</b>		<b>18,195,844</b>
<b>【B】 負債及び正味財産合計 【B-1】 + 【B-2】</b>		<b>21,977,142</b>

## 2019年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブ

## 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

## (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

## (2) 固定資産の減価償却の方法

該当なし

## (3) 引当金の計上基準

該当なし

## (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受け入れはありましたが、そのサービスに関する会計上の処理は行わず、計算書類の注記も活動計算書の計上もしていません。

## (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

## 2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	特定非営利活動 に係る事業	事業部門計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>				
1. 受取会費	0	0	5,769,000	5,769,000
2. 受取寄附金	155,800	155,800	5,044,500	5,200,300
3. 受取助成金等	15,115,260	15,115,260	0	15,115,260
4. 事業収益	198,000	198,000	0	198,000
5. その他収益	33,270	33,270	36	33,306
経常収益計	15,502,330	15,502,330	10,813,536	26,315,866
<b>II 経常費用</b>				
(1) 人件費		0		
人件費計	0	0	0	0
(2) その他経費				
賃借料	5,400	5,400	41,480	46,880
租税公課	0	0	9,700	9,700
サービス利用料	621	621	102,845	103,466
業務委託費	2,719,586	2,719,586	3,146,500	5,866,086
謝金	366,000	366,000	0	366,000
会議費	164,016	164,016	6,061	170,077
旅費交通費	383,532	383,532	249,712	633,244
交際費	4,104	4,104	0	4,104
通信運搬費	9,895	9,895	27,699	37,594
消耗品費	37,477	37,477	58,242	95,719
支払手数料	26,560	26,560	111,073	137,633
広告宣伝費	26,617	26,617	0	26,617
諸会費	0	0	72,800	72,800
その他経費計	3,743,808	3,743,808	3,826,112	7,569,920
経常費用計	3,743,808	3,743,808	3,826,112	7,569,920
当期経常増減額	11,758,522	11,758,522	6,987,424	18,745,946

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

該当なし

4. 用途等が制約された寄附金等の内訳

該当なし

5. 固定資産の増減内訳

該当なし

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
役員借入金	1,600,000	0	1,000,000	600,000
合計	1,600,000	0	1,000,000	600,000

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上さ	内、役員との取引	内、近親者及び支
(活動計算書)			
業務委託費 (事業費)	2,719,586	367,200	0
業務委託費 (管理費)	3,146,500	1,061,000	0
活動計算書計	5,866,086	1,428,200	0
(貸借対照表)			
役員借入金	600,000	600,000	0
貸借対照表計	600,000	600,000	0

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 事業費と管理費の按分方法  
特になし
- ・ その他の事業に係る資産の状況  
特になし

## 2019年度 財産目録

特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブ

(単位:円)

科目	金額	小計	合計
<b>【A】 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金		21,393,989	
現金	0		
みずほ(法人)	21,393,989		
未収金		293,814	
未収金	272,314		
未収収益	21,500		
仮払金	4,548	4,548	
Syncable	284,791	284,791	
<b>流動資産合計・・・①</b>			<b>21,977,142</b>
<b>2 固定資産</b>			
(1) 有形固定資産		0	
(2) 無形固定資産		0	
(3) 投資その他の資産		0	
<b>固定資産合計・・・②</b>			<b>0</b>
<b>【A】 資産合計 ①+②</b>			<b>21,977,142</b>
<b>【B-1】 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	161,704		
前受金	3,000,000		
預り金	4,594		
役員借入金	600,000		
仮受金(FIJ)	15,000		
<b>流動負債合計・・・③</b>			<b>3,781,298</b>
<b>2 固定負債</b>			
		0	
<b>固定負債合計・・・④</b>			<b>0</b>
<b>【B-1】 負債合計 ③+④</b>			<b>3,781,298</b>
<b>【B-2】 正味財産合計 【A】 - 【B-1】</b>			<b>18,195,844</b>

## 2019年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブ

## 1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

## 2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○理事・監事	セガワ シロウ	[REDACTED]	2019年4月1日	年 月 日
		瀬川 至朗		～	年 月 日
2	○理事・監事	フジムラ アツオ		2019年4月1日	年 月 日
		藤村 厚夫		～	年 月 日
3	○理事・監事	タテイワ ヨウイチロウ		2019年4月1日	年 月 日
		立岩 陽一郎		～	年 月 日
4	○理事・監事	イヌイ ケンタロウ		2019年4月1日	年 月 日
		乾 健太郎		～	年 月 日
5	○理事・監事	オガワ カズヒサ		2019年4月1日	年 月 日
		小川 和久		～	年 月 日
6	○理事・監事	イヌイ ケンタロウ	2019年4月1日	年 月 日	
		奥村 信幸	～	年 月 日	
7	○理事・監事	カナイ ケイコ	2019年4月1日	年 月 日	
		金井 啓子	～	年 月 日	
8	○理事・監事	マキノ ヨウ	2019年4月1日	年 月 日	
		牧野 洋	～	年 月 日	
9	○理事・監事	ジョン ミドルトン	20189年4月1日	年 月 日	
		MIDDLETON JOHN GREGORY	～	年 月 日	
10	○理事・監事	ヤナイ ヒトフミ	2019年4月1日	年 月 日	
		楊井 人文	～	年 月 日	

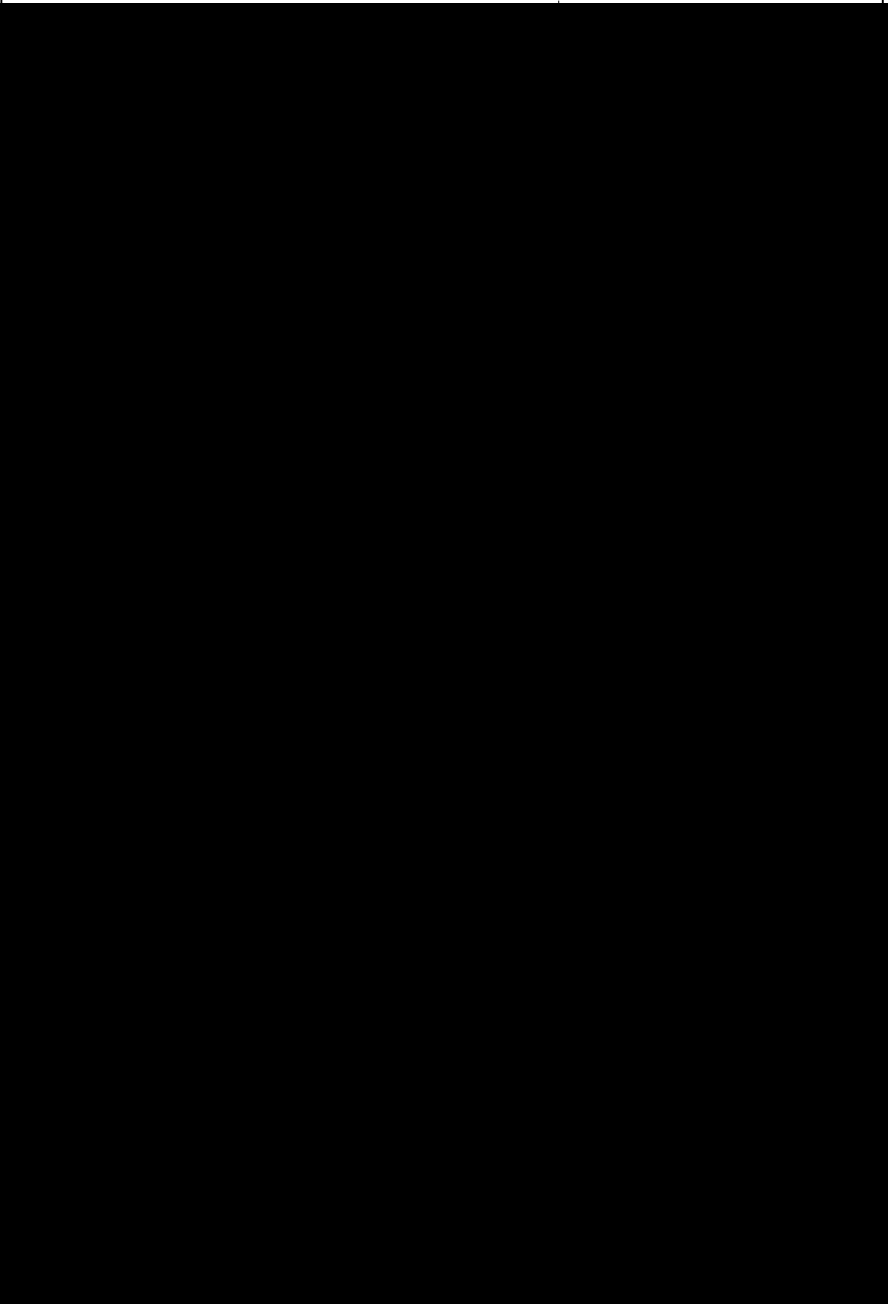
事業報告用

11	理事・監事	ヤマサキ タケシ	2019年4月1日 ～ 2020年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		山崎 毅		
12	理事・監事	ミエ アヤコ	2019年4月1日 ～ 2019年5月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		三重 綾子		
13	理事・監事	ミヤタ ヨシオ	2019年4月1日 ～ 2019年5月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		宮田 芳男		
14	理事・監事	ムラカミ ケンジロウ	2019年6月1日 ～ 2020年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		村上 建治郎		
15	理事・監事	タジマ タスク	2019年6月1日 ～ 2020年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		田島 輔		

## 社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

（2020年3月31日現在）

特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブ

	氏名	住所又は居所
1	瀬川 至朗	
2	藤村 厚夫	
3	立岩 陽一郎	
4	乾 健太郎	
5	小川 和久	
6	奥村 信幸	
7	金井 啓子	
8	MIDDLETON JOHN GREGORY (ジョン ミドルトン)	
9	楊井 人文	
10	山崎 毅	

（以下、略）

## 監査報告書

2020年6月20日

特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブ  
代表理事 瀬川至朗 様

監事 田島輔

私は、特定非営利活動促進法 18 条の規定に基づき、特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブの 2019 年度（2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）業務監査及び会計監査を実施した。

### 1. 業務監査（理事の業務執行の状況に関する監査）の方法

#### 1) 年次監査

2020年6月18日（木）14時～15時

が、社会起業大学（東京都千代田区二番町2平田ビル1階）で実施。

に質問を行って、業務執行の状況を確認した。

#### 2) 上記の他に、監事が理事会等に出席した日

第1回理事会（2019年6月1日）、第3回理事会（2020年1月11日）、第4回理事会（2020年3月17日）

### 2. 会計監査（財産の状況に関する監査）の方法

#### 1) 年次監査

2020年6月18日（木）14時～15時

が、社会起業大学（東京都千代田区二番町2平田ビル1階）で実施。貸借対照表に示された財産の実在性の確認を中心に、帳簿書類、証拠書類等を閲覧、照合した。また、に質問を行い、改善提案などの意見を表明した。

### 3. 監査結果

これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づいて執行され、会計は、NPO 法人会計基準及び一般に公正妥当と認められる会計の方法によって適正に処理されているものと認められた。

ここに、私は、上記期間に係る事業報告が同法人の業務執行の状況を示し、計算書類が 2020 年（令和 2 年）3 月 31 日における財産の状況を適正に表示しているものと認める。

### 4. 改善提案の意見



なお、年次監査においては、下記の通り改善提案を述べ、その達成に向けて理事と監事がお互いに協力することを確認した。

- ①理事会の四半期ごとの開催を徹底し、理事は業務執行の状況を適切に報告する。
- ②理事会以外でも、グループウェア等を利用し、理事は、業務執行の状況を都度、報告するものとする。
- ③活動ごとの詳細な計画を検討・作成し、進捗管理を徹底する。
- ④業務監査における重点項目  
個々のプロジェクトに関して、当法人の長期的な目的との関連性を明確にする。
- ⑤会計監査における重点項目  
予算の内訳を、出来る限り明確にし、実績対比を実践する。

以上